



おじいちゃん その 語り



相坂友人くん
(十三小・5年)

おじいちゃん
からの
ひとこと

とても素直な子で、まだ小さい弟の面倒もよくみてくれます。このまま伸々と明るい子に育ってほしいな。 徳雄さん (72歳)

今月の主な記事

- セミナーハウス(兼脚殿)完成……2
- 村民憲章碑・標を建立
「しうら音頭」歌詞決定……………3
- 歴史民俗資料館(常設)オープン……4
- 市浦牛の放牧始まる……………5
- 安藤物語……………6
- おしらせ……………7
- 健康への道・戸籍の窓……………8

ぼくの自慢の おじいちゃん

おぼくのおじいちゃんは、優しくとてもいいおじいちゃんです。今年でも七十一才。家のテレビで、大好きな時代劇を見るのが多くなりました。

前までは、畑に行ったり、家の仕事を手伝ったりしていたのですが、仕事のしすぎでたおれてからは畑仕事をしないようになりました。けれど、家の仕事は前と変わらずしています。あんまり無理しないでほしいです。

若いころ、おじいちゃんは戦争でくらしようをもったそうです。たうじてもらえたのはよく聞かせました。が、見せてもらったくらしよりは、とても立派な物でした。それに、賞状もいっぱいあります。「とてもうれしいなあ。」と思ってしまっほどのおじいちゃんです。

今はもうむすかしいので教えるなくなりましたが、一・二年生ごろまでは、勉強でわからない所があるといつも優しく教えてくれました。頭もよいのです。

保育園に行っている弟のさだきの送り迎えも毎日しています。とても優しいのです。

おじいちゃん。これからも無理をしないで、大好きな時代劇のテレビを見て、長生きして下さい。ぼくもおじいちゃんみたいな人を目指して、がんばります。

脇元海辺ふれあいゾーンに

セミナーハウス完成

にしん 御殿 を復元



日本海を見下ろす高台に建てられたセミナーハウス

市浦村では、脇元地区に建設を進めていた鯨御殿を模したセミナーハウスがこのほど完成し、四月二十九日から一般公開されています。

総二階建て、床面積二百八十七・三平方メートルのセミナーハウスは、事業費が六千九百三十二万円で、自治省のまろくり特別対策事業と県の市町村活性化戦略プロジェクト事業で実施され、国道

三三九号と脇元漁港の中間の高台に建てられました。

セミナーハウスは、大小三つの研修室、浴場などがあり、ニシン漁にちなんだ資料も展示され、多目的研修コーナーにあるレストランでは、アワビ、ウニ料理、鱈そばなどが、市浦村の海の幸が味わえます。また、日本海を見下ろす研修室は宿泊もでき、各種研修のほか臨海学校として利用できます。

鯨漁法の先駆者 斉藤彦三郎(出身)

脇元出身のヤマカギ屋・斉藤彦三郎は、弘化四年(一八四七年)に単身で北海道へ渡り、積丹半島にニシン漁場を確保。その後網の改良に心血を注ぎ、明治十八年にニシン漁法の革命と言われた角網の開発に成功し、一代で身上を築いた。

脇元地区からは、多数の親方衆が輩出されたほか、同地区出身の数百人のヤン衆も津軽海峡を渡った。

鯨御殿は、日本海沿岸地方に伝承された切妻造りの民家様式に洋風モチーフを調和させた建物で、囲炉裏(いろり)から出る煙を排出する入母屋造りの屋根があるのが特徴。



関係者らの見守る中行われたテーブルカット

ニシン漁場のシンボルであった鯨番屋のことを、当時鯨御殿と言っていた。

ニシン漁の変遷

刺労働力を出稼ぎにあてたこととに始まるが、これは今日のように労働市場の発達しなかつた時代だっただけに、主たる出稼ぎは海を生産の場とする漁業労働であり、北海道積丹半島一帯、利尻、礼文島がニシン漁場であった。

それ以前の脇元の「ニシン盛り」は、大正四年頃までであった。そのころは、刺網で十五人の人達が組んで、前浜でニシン漁をしていた。しかし、明治末から大正にかけて前浜のニシンは、海流の変化により漁は全くなくなり、脇



昔をしのび披露された網おこし

元の親方(網元)は、各々三十人ほどの網(やとい)を連れて北海道へ渡った。漁期は、彼岸の前月から五月末までで、最盛期は四月であった。親方は脇元に十三人、磯松に三人いた。

雇は、弘前、板柳、鶴田、中里をはじめ秋田、岩手方面からも集めた。六月末には漁を切り上げるが、賃金は大正中期で船頭百円、下船頭七十円、雇は個人差はあるが、普通三十五〜四十円であった。

(その頃米一俵四円)
このようなニシン漁業も、昭和初期には衰退の一途をたどったが、伝統的にニシン漁にたずさわってきた脇元の漁民のなかには、出稼ぎ先の漁場に定住する者が多く、当時の積丹町入町地区住民の八十%が脇元出身者である。

考古展示

オセドツ貝塚や五月女両遺跡などから出土した縄文時代の土器・石器・人骨など、人が住みついたことがわかるように展示しました。



歴史展示

津軽中世の豪族安東氏は、十三湖を根拠地に日本海交易ももちろん、大船にまで足を延ばし、遠知れぬ財貨の獲得を固く志した。その足跡は「三津七渡」をめぐる海の道から推しても知る事ができます。しかし、本村に遡る安東氏の資料は少なく、出土品をはじめ、写真パネルを主体に展示しています。



民俗展示

市浦は海と山と湖に囲まれた村で、漁業は磯見漁業、農業は稲作が主体です。また、村士の85%が国有林(地)であるため早くから林業が盛んでした。いずれもきびしい自然環境の中で人々は努力をしてきました。こうした市浦の人たちのくらしを漁具、農具、山用具などの資料を中心に構成しました。



▶十三湖中の島ブリッジパークにある歴史民俗資料館



展示されています。

この資料館に取められている資料は、約三百五十点を数え、すべて村民から寄せられたものばかり。昔の人々のくらしが偲ばれる資料を中心に展示されています。

市浦村歴史民俗資料館は、去年八月二日に開館し、開館記念として「安倍・安東氏特別展」を一月間開催、約一万人の観客が訪れ、大変好評を得ました。

これまで、常設展示館としての準備のため閉館していましたが、四月二十九日から再び開館されました。

お待ちせ！
常設展示館がオプ
ン
歴史民俗資料館

【利用案内】

●開館 9:00~16:30

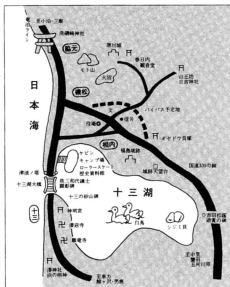
●休館日

月曜日(国民の祝日と重なる場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12月27日~1月4日)

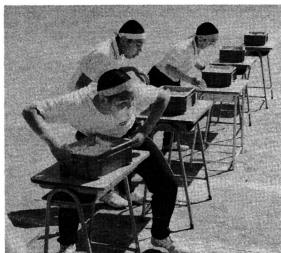
●入館料

| | 個人 | 20人以上の団体 |
|-------|------|----------|
| 一般 | 210円 | 100円 |
| 高・大学生 | 100円 | 50円 |
| 小・中学生 | 50円 | 30円 |

【史跡案内】



運動会シーズンたけなわ



▶目指すはゴール!

緑風さわやかな五、六月は運動会の季節。

年一回行われる小・中学校の運動会は、児童、生徒だけでなく、父母らにとっても楽しい年中行事の一つです。

五月二十七日、村内小・中学校の運動会を切って市浦中学校の運動会が行われ、にぎやかな歓声がグラウンドにあふれました。

この日行われた市浦中学校(鳳至夫校長、生徒数百七十五名)の運動会では、一日中好天に恵まれ、生徒たちは百計競走や玉入れ競技に熱中、父母も綱引き競技に参加するなど、さわやかな初夏の日

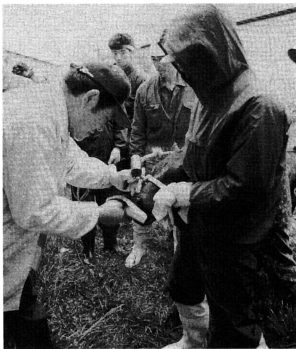


▶応援観戦も華やかに

差しを浴びて、楽しいひとときを過ごしていました。

市浦牛の放牧

村営牧場5カ所に478頭



今年生まれた子牛は鼻紋をとって初登録

市浦村では、今年も牛の放牧が始まり、五月九、十の両日、岩井牧場を皮切りに村内五カ所の牧場に四百七十八頭の黒毛和牛が放牧されました。

○ ○ ○

本村は、昭和三十三年から村の基幹産業として、黒毛和種肉用牛の育成に的を絞り、村営の草地造成と肉牛の増産に努めてきました。

今では、中央市場でも「市浦牛」としての銘柄を確立するまでに成長しています。

村では、昭和五十三年から高齢者や出稼ぎ農家を対象に子牛の貸付制度を導入し、飼養農家の拡大に努めています。



熱心に説明を聞く農家の皆さん



のんびり乳を飲む子牛



一斉放牧を待つ市浦牛

現在の飼養農家は四十九戸で、やや横ばいの傾向にありますが、飼養頭数は一、七三

六頭（農家肥育、畜産公社含む）で少しずつ増えています。昭和五十五年度からは、県

営草地開発事業、国営等草地開発附帯事業が実施され、草地面積は三百六ヘクタールとなっています。

冬の間、各農家で飼育されていた牛が朝早くから次々運び込まれ、登録票を付けたり、鼻紋をとったあと、健康状態のチェックが行われ、期待に満ちた農家の人たちに見守られながら放牧され、十月の終牧までの六ヶ月間、広々とした草原で、牛たちはのんびり過ごします。

今年の冬から春にかけて生まれた子牛は、初めてみる広い野に大はしやぎ。若草をはんだり、追いかけてっこをしたり、伸び伸びと草原の感触を楽しんでいます。

消防法の一部が改正されました

昭和六十三年の消防法の一部改正により、危険物の範囲が見直され、今年五月二十三日から施行されます。

特に住民の皆さんに關係のある灯油の場合、今まで五〇〇ℓ未満まででしたが五〇〇〇ℓ未満まで貯蔵できるようになりました。

また他の危険物等も変更がありますので次の表及び規制を参照して下さい。

▼灯油を五〇〇ℓ以上貯蔵する場合、個人の住居でも貯蔵する場合は消防署への届出が必要ですが、

※その他の危険物等にも規制がありますので不明な点は消防署へおたずね下さい。

| 四 類 | | | | |
|-------|--------|--------|--------|-----|
| 第一石油類 | ガソリン | 一〇〇ℓ | 二〇〇ℓ | 現 行 |
| 第二石油類 | アセトン | 五〇〇ℓ | 一、〇〇〇ℓ | 改 正 |
| 第三石油類 | 軽灯油 | 二、〇〇〇ℓ | 二、〇〇〇ℓ | |
| 第三石油類 | 重油 | 二、〇〇〇ℓ | 二、〇〇〇ℓ | |
| 第四石油類 | ギヤード油 | 三、〇〇〇ℓ | 六、〇〇〇ℓ | |
| | シリンダー油 | 三、〇〇〇ℓ | 六、〇〇〇ℓ | |



安藤氏の系図(7)

貞任の系図

頼時の子

天喜五(一〇五七)年秋九月に安倍頼時が敵の流矢にあたって鳥海の柵で戦死しました。(この前九年合戦の詳細については別稿で述べることにします)。

『秋田家系図』では頼時の子として次の人びとを挙げています。井殿、良宗、貞任、宗任、家任、重任、正任、則任、女子、女子の



元慈眼寺弥勒菩薩像

八男二女です。

『安倍系図伝』によれば井殿は「目盲たり故に家を盲くを得ず、嵯峨江の冠者」とあり、又安東太郎と号す、早世とあつて、井殿と良宗を同一人とみています。また一説として井殿は良宗ともつけ足して、秋田家系図の良宗の項に「早世、安東太郎、嫡子嵯峨江冠者、一説に男

と云ふ」とあつて系図のあ

いまいきを物語っています。また、家任を伯良貞の子とし、女子を三人つたとしています。つまり井殿、貞任、宗任、女名前はいちがいのまへ、藤原経済妻、平泉清衡母、正任、重任、女(名前)、かがいちのまへ、平永衡妻、則任、女(名前)、あるがいちのまへ)の六男三女が挙げられていることをつけ加えておきます。

貞任

もとに戻つて、秋田家系図によって、藤崎城主高星の父貞任の事蹟を述べることにします。

『男河』、羽州雄勝郡厨河城主。「厨川」は現盛岡市北西部に位置しています。父頼時が戦災のまもりとして築いた柵を二男貞任

が城主となつていたことを意味しています。

「永承五年に源頼義、後冷泉院の勅を蒙けて大將軍の印を帯びて貞任を征す」。前号で述べたように、「前九年合戦」の発端で、国府軍が安倍頼時軍に惨敗したため、朝廷ではその征伐に源頼義・義家を派遣した事情を述べた項目です。年代は永承六(一〇五二)年が正しく、征伐の対象もこの時は「貞任」ではなく「頼時」(頼長)であつたわけですね。

第七十代後冷泉天皇の勅命によって陸奥守兼鎮守府將軍の官職、その印として太刀が授けられる)に任ざられています。

「天喜五年に貞任四千餘騎を率いて、却つて源氏の兵を討つ、頼義家及び藤に七騎と為る云々。阿久利川事件(別稿で詳細に述べる)によつて、前九年合戦の本格的な攻防が天喜五(一〇五三)年展開され、源氏の官軍がまた惨敗し、わずかに七騎で国府多賀城に落ちのびたわけです。実は兼任の鎮守府將軍を命ぜられた

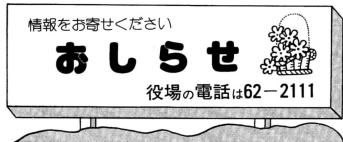
のもこの年でです。

「康平五年に貞任衣川の城に柵を籠る、源兵之れを攻む、貞任兵屈し矢尽きて散北、義家之れを追ふ。僅かに十餘歩を隔つ、義家口比ニテケリ、貞任糸ノ亂して云く、年々ハ兵ヲ引ルシケリ、義家其の秀句を感て、弓弦を弛め矢を捨て、云く、卿我に降せよ。頼時に達して死罪を赦さんと、貞任が云く、命は天に在り、義は前に在り、何ぞ難を乞ふべけんや、然りと雖へども今君が志を感ずると云うて、太刀(太刀の名を幾と云う)を解きて義家に授けず、遂に戦いで死す、義家彼の太刀を以つて醍醐の御実上人に施す。貞任が亡魂を弔う、又精舎を建て耳納寺と号す、国人八年基の神を祀りて厨河の八幡と号す。前半の安倍貞任と源義家(八幡太郎)といふ

の歌の贈答は、私たちが小学校時代「国史」の授業で習つたことで今も記憶に新たなものがあります。平安末期の武士がただ武骨一

微な生活ばかりを送つたのではなく、和歌にも秀でていたみやびやかな生活の一面を持つていたので、すなはち、義家が貞任に降参をすれば助命をしてやると呼びかけた時の貞任の言動のりつばい、義家の感に幾という言葉を義家に贈り、從容と死についた奥州津軽十三湊安藤氏の先祖安倍貞任の霊を顕彰し慰めてやらなければならぬと思ひます。文武両道の達人として敵將義家を感じせし、醍醐寺の御実上人に貞任所持の名刀幾を奉納し貞任の靈魂を弔わせ、また耳納寺を建立して神と崇められた安倍貞任の遺徳を私たちは永く子々孫々に語り継いでいきたいものだと思ひます。H・2・5・23記

※上掲の弥勒菩薩像「記録では如空親善」は安倍貞任の守り本尊といわれて、十三湊安藤氏に伝えられたものですが、現在松前町呷寺に移され祀られています。(実物盗難)



かんぽ資金まちづくり 写真コンクール作品募集

簡易保険・郵便年金資金の融資でつくられた施設及び簡易保険・郵便年金加入者福祉施設を題材とした写真作品を募集します。(具体的な施設名は、郵便局におたずねください)

○作品募集 7月31日まで

○作品の応募先 お近くの郵便局

○作品の大きさ

一般の部—四寸切判又はキャビネ判。中学生・小学生の部—キャビネ判以下。

○応募作品は単写真のみとし、組写真では応募できません。

○入賞作品については、ネガを提出していただきます。

○応募作品は、原則として返却しません。

※その他詳しいことは、最寄りの郵便局へお問い合わせください。

(仮称)安方緑地・(仮称)青森大橋 —名称募集—

(募集の内容)

◎(仮称)安方緑地

青函博会場となったアスパム周辺と旧青函連絡船棧橋を合わせ、長さ7.8haに、海とのふれあいを求めて遊歩道、広場などを配した港のシンボルとしての公園にふさわしいもの。

◎(仮称)青森大橋

JR青森駅を跨いで、青森港を東西に連結し、約1,200メートル、金色のケーブルを吊る主塔の高さは約80メートルの斜張橋としては日本でも最大級であり、(仮称)

安方緑地、アスパムなどの景観にマッチした港のシンボルとしての橋にふさわしいもの。

(応募資格)

青森県に在住する方

(応募方法)

① 官製ハガキを使用し、1枚に各々名称を書いてください。(ただしどちらか一つの名称でも可)

② 応募枚数に制限はありません。

③ 官製ハガキの裏面に名称、住所、氏名(ふりがな)、性別、職業、電話番号を記入してください。

④ 入選作品の著作権は主催者に帰属するものとし、印刷物等に使用します。応募作品の返還はしません。

(募集期間)

平成2年6月1日

～平成2年6月30日

(応募先及び問い合わせ先)

〒030

青森市長島1丁目1-1

青森県土木部港湾課管理班

電話0177221111番(内線4311)

自動車税7月2日まで

最寄りの銀行、信用金庫、信用組合、農業協同組合または郵便局から納めてください。

納税通知書の1枚目は納税証明書になりますので、自動車検査証と一緒に大切に保管してください。※納税貯蓄組合に加入している方は、組合を通じて納めましょう。

五所川原県税事務所
電話34-2111番

市浦村の人口と世帯数

平成2.5.1現在

| 大字名 | 前月人口 | 人口 | 世帯数 |
|-----|-------|-------|-------|
| 相内 | 1,360 | 1,374 | 414 |
| 桂川 | 107 | 103 | 25 |
| 太田 | 305 | 308 | 95 |
| 徳元 | 650 | 650 | 213 |
| 磯松 | 367 | 366 | 116 |
| 十三 | 871 | 874 | 261 |
| 計 | 3,660 | 3,675 | 1,124 |

海外開発青年募集

1.募集人員

40名

2.募集期間

平成2年6月1日

～同年7月10日

3.資格

満20歳以上35歳までで、短大・高専卒以上の者および、これらと同等の知識・能力を有すると認められる者

4.職種

受入期間の必要とする職種

(5部門40職種)

5.選考

1 第一次選考 7月22日

筆記試験、書類選考等

2 第二次選考 8月21日、22日面接、健康診断等

6.選航前講習

約3ヶ月間(10月下旬から実施)

7.受入機関

ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビア、ペルー、コロンビア、ドミニカ共和国、メキシコの8ヶ国の日系公共団体、企業、政府機関等

8.送出

平成3年2月下旬予定

9.青年に対する支援

講習参加費用、往復費、現地生活費・住居費、国内積立金等

◎海外開発青年募集説明会

6月29日(金)

18:30～20:30

青森市文化会館

3階第4会議室

青森市堤町1-4-1

役場は、4月から第2、第4の土曜開庁を 実施しております。

※なお、診療所及び保育所は
従来通り開所しています。

6月の開庁日は9日と23日です。



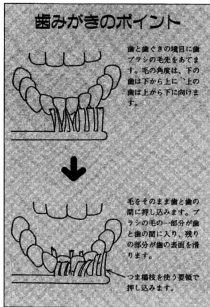
一生自分の歯で食べよう

一歯の衛生週間 六月四日～十日

歯はなぜ抜ける?

歯が抜けるのは年をとった「老化現象の一つ」と信じられてきましたが、これは間違いです。歯は病気で抜けるのです。この病気をえなかつたら歯は生涯使えるのです。歯が抜ける第一の原因は、ムシ歯で、二番目が歯槽膿漏です。

女性の場合は、一生を通じてムシ歯で抜かれるのが第一位です。男性の場合は、歯槽膿漏が抜歯原因の主たるものです。そして、ムシ歯も歯槽



膿漏も歯の表面につく歯垢の中の細菌によって起こります。(歯垢とは、口の中にいる細菌の塊が歯に付いたもの) これらを防ぐことが大切です。歯をみがくことが大切です。

また、一生自分の歯を丈夫に保つためには、母の胎内にある頃から、その人が亡くなるまでの長く継続的な注意が必要で

歯の健康計画

①妊娠中の注意 歯の前身である歯胚が作られるので、妊娠初期から良質のたんぱく質、カルシウム、リン、ビタミンA、C、Dをとるよう努めましょう。

②乳歯の頃の注意

一生の中で一番体が成長する時期なので、十分な咀嚼力による食物の摂取が大ききかためです。咀嚼はまた、将来の歯列にも大切な役割をもっています。ブラッシングはもちろん、規則正しい食生活の習慣をから永久歯へのはえかわりの頃の注意 顎の骨が小さいと歯列の外に歯がはみだし、口唇を傷つけたり、歯肉表の原因となります。また、乳歯のムシ歯がひどいと、根だけ残つてしまい、次にはええてくる永久歯の方向が違ってきます。どうかこの時期に細心の注意をはらって様子を見てください。

④永久歯の時代の注意 大人になると定期検診の機会がありません。どうしても自分で予防する必要があります。定期検診と、食後のブラッシングを励行し、一生自分の歯でかみ、食べてほしいのです。

幼児の虫歯の状況 (平成元年度)

| 年齢 | 虫歯率 | 1人平均虫歯本数 |
|-----|------|----------|
| 1才児 | 4.0% | 0.04本 |
| 2才児 | 54.2 | 2.8 |
| 3才児 | 73.9 | 5.5 |

※1才6ヶ月から2才の間に虫歯が急激に増える傾向にあります。

歯科医療費の状況 (国保昭和63年度)

| 被保険者数 | 受診件数 | 歯科医療費 | 1人平均歯科医療費 |
|--------|--------|-------------|-----------|
| 2,026人 | 1,671件 | 24,846,400円 | 14,869円 |

※歯科に受診している人の平均医療費は14,869円です。



戸籍の窓

お誕生



佐藤 弘将 (相内) 15年
 平野 雄大 (相内) 15年
 相川 千智 (太田) 13年
 飯島 大貴 (相内) 13年
 三浦 啓 (相内) 11年
 土岐 香葉絵 (太田) 11年
 三和 優大 (相内) 10年
 村元 祐輝 (磯松) 10年
 石岡 円香 (脇元) 10年
 克雄

ご結婚



松谷 智久 (十三) 13年
 佐々木 美紗子 (車力) 13年
 三和 茂子 (相内) 13年
 相川 光香 (十三) 13年
 柳井 祐香 (東京) 13年
 渡辺 順子 (東京) 13年
 葛良 満子 (車力) 13年
 工藤 久美子 (太田) 13年
 笹山 由香利 (脇元) 13年

おくやみ

山本 克己 (静岡) 50年
 植野 あつ子 (太田) 49年
 前田 俊一 (五所川原) 49年
 新岡 眞津子 (十三) 49年
 鹿内 直俊 (青森) 49年
 安田 十三子 (十三) 49年
 工藤 順一 (車力) 49年
 山内 理香子 (相内) 49年
 杉原 稔 (広島) 49年
 渋谷 恵 (十三) 49年

善意のありがとう

「手作りそうざん会」
 小山内タリさん(十三)
 「環境の美化に役立てば」と、小山内タリさんが心をこめて作ったそうざん五十枚を、五月二十五日村社債を通して、中里町にある静和園に寄贈しました。ありがとうございました。